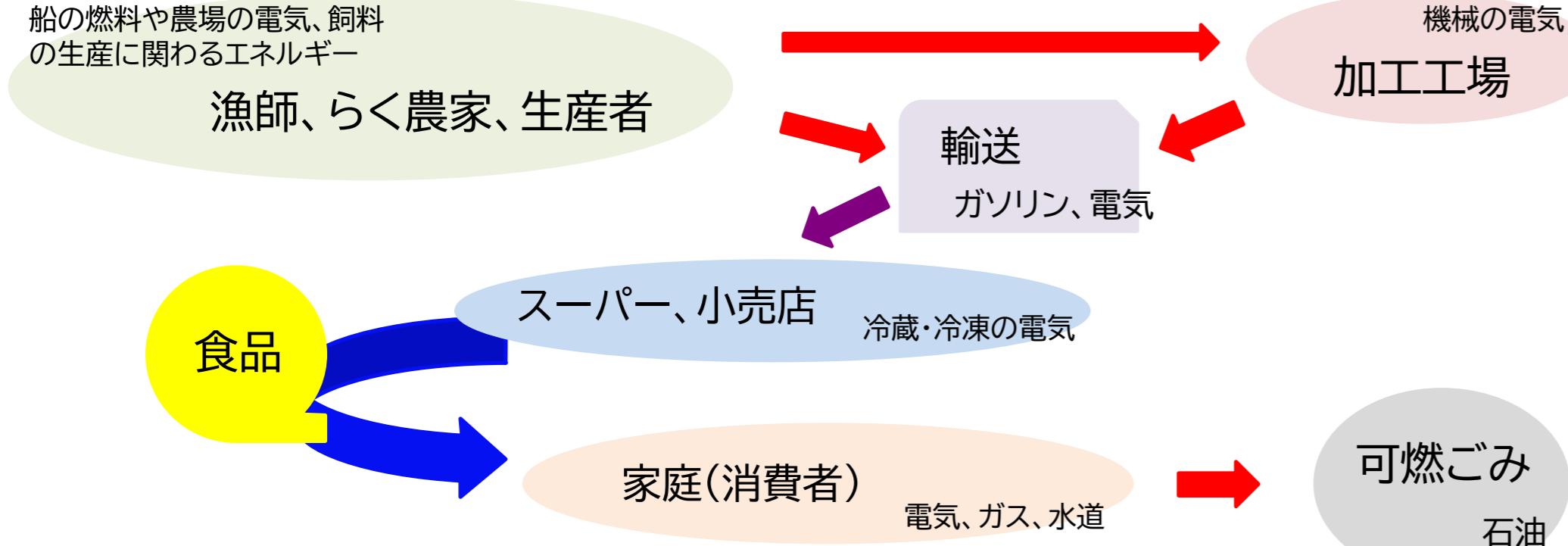


『くらしの中のエネルギー』新聞

町田市立鶴間小学校
6年
大久保由良
E

『食品ロス』とエネルギー

食べ物が食卓にならぶまでを考えてみよう！



あなたのお好きな食べ物は何でしょう？

ハンバーグ？カレー？唐揚げ？…美味しいですね！

では逆に、嫌いなメニューは何でしょう？もし、それが夕飯に出た時、あなたはどうしますか？
わたしが話したいのは「それを食べる、食べない」ではありません。がんばっても食べられない時には
おそらくそれなりに、ムダにしないことが大切だということなんです。

もったいないからでしょ？



「食品ロスによる『エネルギーのムダ使い』はそういうことではないんです。

生ごみの約80%が水分で燃えにくいため、プラスチックや石油を使って燃やしているのです。余分な水分を乾燥させるために、資源をムダ使いしている。

「生ごみを捨てる」とは、「資源も捨てる」とになっているんです。



エネルギーは目には見えませんが、もし「エネ太郎」になって目に見えるとしたら、生産者から消費者の元に届くまでにたくさんの「エネ太郎」がくっついてくると思います。

そして「食べ残そうかな」と思って、ゴミとして捨ててしまう瞬間に増えてしまうんですよ！



日本のエネルギー問題

「スイッチを押せば電気がつく」って当たり前なんでしょうか？

日本は資源が少なく、外国から電気を作るための燃料をたくさん買っています。石炭はオーストラリア、石油は中東地域、天然ガスもオーストラリア。でも世界の情勢が変われば、いつ何が変わるか、分かりません。

私が生まれる前、「オイルショック」という出来事があり、戦争が原因で石油の値段が上がり、世界中が混乱したそうです。昔よりも電気を必要としている現代に同じことが起きたら困ってしまいますよね。そのため、「使うのを減らせばいい」「再生可能エネルギーで作り出せばいい」ではなくて、「どのようにしたら、エネルギーをムダに使わないで済むんだろう」ということを知る必要があるのだと思います。

【我が国のエネルギー自給率】



「エネルギー自給率」とは、社会に必要とされた消費エネルギーに対し、国内で確保できたエネルギーの比率のことです。
まだまだ足りないです。

エネルギーによる「感動」や「安心」

エネルギーのおかげで、くらしの中に多くの「感動」や「安心」を与えてくれているんです。

夏が旬の「トマト」ですが、一年中食べることができるのは冬もビニールハウスで暖房を設置して育ててくれているからです。植物工場でレタスの水耕栽培をしているのも、天候に影響されないメリットがあるんです。ケーキのイチゴだって、安定して食べられるのはエネルギーのおかげなんですよ。

街の夜景イルミネーションはLEDや光ケーブルなどを使い、人に感動を与えてくれる素晴らしいものです。クリスマスケーキのいちごだって、冬の一大イベントに大事なものですね。

おじいちゃんは野菜を作っていますが、今年も暑すぎて野菜がうまく育たなかったり、作業ができなかったりするそうです。

美味しい野菜を安定して育てるために、農家さんはとても苦労しているNだと思いました。



おじいちゃんの畑で収穫してきました

やってみよう！生ごみの乾燥実験

まずは「自分たちにできること」を体験することが大事だと思います。お母さんの料理を手伝う時に、生ごみがどのくらい出て、乾燥させるとどうなるのか？ぜひ、体験してみてください。



庭で育てたゴーヤ
1本で103gでした。

料理に使ったあとに
廃棄する部分は
48gもありました！



この生ごみを外
に置いて、乾燥
させるとどのく
らいの重さにな
るんでしょうか？



天気:晴れ
(気温34°C/湿度52%)

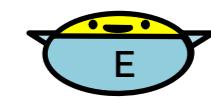
1日置いただけで35g
になりました。なんと
28%も減ったんです。

編集後記

わたしは、小学4年生から6年生までの3年間、「わたしたちのくらしとエネルギー」かべ新聞コンテストに取り組んできました。くらしの中のいたるところにエネルギーが関わっていて、それはあって当たり前のものではなく、形を変えて地球の資源を使いながら作られていることを学びました。

人のくらしは、様々なことがつながっています。ひとつのことが多くのことをムダにすることもあれば、ひとつのことでも多くのことを節約することにもつながります。

これからも新聞づくりで学んだことを大事にしていきたいと思います。



エネルギーは大切に！